

第 1 2 回荒川区地域公共交通会議書面会議

協議事項

コミュニティバスの減便等に関すること

荒川区コミュニティバスは、さくら、汐入さくら、町屋さくらの3路線で、運行事業者である京成バス(株)の自主運行によって、運行を行ってきた。

本件は、運行事業者からコミュニティバスの運行に関する変更案が提示されたので、その内容について協議するものである。

(1) 汐入さくら 日中時間帯の減便

2台で運行している「汐入さくら(南千03系統)」において、10時から16時までの日中時間帯及び20時台の1便を減便して運行する。運行間隔は20分から30分となる。

変更実施時期：令和2年6月(予定)

変更内容：

汐入さくら (往復便)		現行	見直し
運 行 条 件	運賃	160円(IC157円)	現行のとおり
	運行距離	片道 約3.7km	現行のとおり
	運行台数	2台(中型車)	現行のとおり
	運行時間	6時台~21時台	現行のとおり
	運行間隔	約20分	10:00~16:00は約30分 20:00以降は20~30分 (他時間帯は現行のとおり)
	運行便数	45便(南千住駅西口 南千住駅東口) 45便(南千住駅東口 南千住駅西口)	37便(南千住駅西口 南千住駅東口) 37便(南千住駅東口 南千住駅西口)
	停留所数	13箇所(南千住駅西口 南千住駅東口) 13箇所(南千住駅東口 南千住駅西口)	現行のとおり

変更理由：

汐入さくらは、起終点停留所での折返し時間が基本的に2分となっているため、運行途中の乗務員のトイレ休憩が不可能であることや、悪天候時に2分以上の遅延が発生際、遅れを回復できないままの運行となり、安全な運行に支障をきたすことが課題となっている。

これらの課題に対処し、労働条件の見直しを行うことで、遅延発生時の乗務員の心理的ストレスを改善するとともに、慢性的な乗務員不足の改善に繋げていく必要があるため、朝のラッシュ時の利用者への影響を避けつつ、減便を行うこととなった。

参考 資料1のとおり

## (2) 町屋さくら 循環便の廃止

2台で運行している「町屋さくら（町屋 04・町屋 05・町屋 05-1 系統）」を1台に変更する。平日は、町屋 04 系統（循環便）を廃止し、町屋 05 系統（往復便）を1台で運行する。土休日は、町屋 05-1 系統を1台減便して運行する。

変更実施時期：令和2年6月（予定）

ルート図



変更内容：

			往復便		循環便		
			現行	見直し	現行	見直し	
運行条件	運賃	平日	160円(IC157円)	現行のとおり	160円(IC157円)	廃止	
	運行距離	平日	約6.0km	現行のとおり	約6.3km		
		土休日	約7.4km	現行のとおり			
	運行台数	平日	1台(小型車)	現行のとおり	1台(小型車)		
		土休日	2台(小型車)	1台(小型車)			
	運行時間	平日	6時台~21時台	現行のとおり	6時台~21時台		
		土休日	6時台~21時台	現行のとおり			
	運行間隔	平日	約40分	現行のとおり	約40分		
		土休日	約20分	約40分			
	運行便数	平日	22便	現行のとおり	23便		
土休日		45便	22便				
停留所数	平日	23箇所	現行のとおり	20箇所			
	土休日	24箇所	現行のとおり				

変更理由：

町屋さくらは、乗車人員が芳しくない状況にあり、路線としての収支改善と慢性的な乗務員不足改善を図る必要があることから、循環便を廃止し減便を実施することとなった。

参考 資料2のとおり

## 報告事項

### さくらの雨臨時便廃止

雨臨時便は、さくら左回り循環便（南千01系統）において、翌日の降水確率が50%以上のときに、朝7時から8時の間に「グリーンハイム荒川」「町屋駅」間を4便運行している臨時便である。シフト外の乗務員を臨時便業務のために拘束するため、乗務員の労働環境悪化につながっていることや、当日雨が降らなかった場合でも、前日の降水確率で確約して運行していることから廃止をする。元々雨天時は、町屋駅への利用者が非常に多いことから始めた経緯があることから、降水確率で確約する現行の臨時便は廃止するが、大雨等の時に営業所の判断で臨時便運行を行う予定である。

変更実施時期：令和2年6月（予定）

参考 荒川区コミュニティバスルート図参照